


自治体名	島田市	課名	子育て応援課
年度	平成27年度	連絡先	0547-36-7159
件名	子育て応援つなぐる環境づくり事業 (子育て応援ポータルサイト作成業務)		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<p>島田市子育て応援サイト「しまいく」の開発・開始 島田市で妊娠、出産、子育てをするママ&パパの“知りたい”“相談したい”“つながりたい”のニーズに応え、行政情報、子育てイベント、子育て支援団体、そして同世代の方との交流へつなげる案内サイトを開発した。</p> <p>開発に際して、現役ママ、高校生、子育て支援団体や行政が参加したコンセプト会議を開催し、その意見を反映したサイトを構築している。</p>		
効果やPRポイント	<p>市内の子育てに関する情報を網羅したポータルサイトとして、平成28年2月供用開始し、豊富な子育てに関する情報(予防接種、医療機関、手当、公園、講座やイベント等)の他、支援団体のイベント等を配信しており、利用者は拡大している。</p> <p>また、平成28年3月には島田市子育てガイドブック“しまいく”初刊の際、サイトのPRをしており、子育て情報の周知度は相乗効果により拡大した。</p>		
経済的効果			
今後の方向性	サイト内の充実を図り、利用者の拡大を図る。		

図・写真



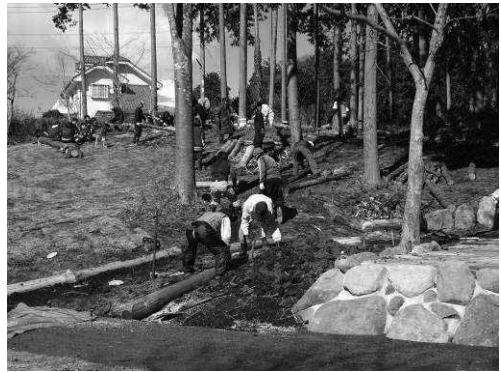
自治体名	島田市	課名	長寿介護課
年度		連絡先	0547-34-3293
件名	島田市地域高齢者見守りネットワークづくり事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ <input type="text" value="その他"/> （見守り）		
手法	<input type="text" value="住民参加"/> ・ 提案型委託 ・ <input type="text" value="事業協力"/> （共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	<input type="text" value="NPO"/> ・ <input type="text" value="地域住民"/> ・ <input type="text" value="企業"/> ・ <input type="text" value="公的団体"/> ・ <input type="text" value="コミュニティ"/> ・ <input type="text" value="自治会"/> ・ <input type="text" value="その他"/> （民生委員・薬剤師会等）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ <input type="text" value="なし"/>		
目的・事業概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、市内の企業等でネットワークを構築し、高齢者を見守る。		
効果やPRポイント	行政・地域・民間事業者等が連携して見守ることで、ひとり暮らし高齢者等の異変などにいち早く気づき必要な支援の提供や安全の確保が可能となる。		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	多くの目で見守り活動を実施するために、協力事業所を増やしていく。 広報やマスコミ等を活用した情報発信で、事業の周知を図る。 高齢者あんしんセンターと協力団体との連携を強化する。		
図・写真			

自治体名	御殿場市	課名	都市整備課
年度	平成28年度	連絡先	0550-82-4226
件名	神山自然公園整備事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	地域住民とともに、基本構想、実施設計の策定、施工（地域住民による部分的間伐及び植栽作業など）を行い約1.6haの都市公園整備を行った。用地については地権者と市が無償借地契約を締結。平成28年度末の完成後の維持管理についても地域住民及び市（指定管理者）において行う。		
効果やPRポイント	構想策定時から、利用者となる地域住民との協議により整備を進めたことで、完成後の利用を想定した公園整備を進めることができた。		
経済的効果	市が単独で実施するよりも安価で実施できた。		
今後の方向性	花壇、樹木等の管理を通して多世代の交流、活動拠点となるような利用が求められる。		
図・写真	<p>↓地域住民と市・業者による芝張り作業</p>  <p>(施工前) (施工後)</p>		

↓ 芝張り作業の様子



↓ 遊歩道の整備



↓ 手作りの遊具




↓ 人工芝滑り台



↓ 作業には、たくさんの方が集まった



自治体名	藤枝市	課名	市民活動団体支援課
年度		連絡先	054-643-3274
件名	藤枝市まち美化里親事業（アダプトプログラム）		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	市民の皆さんが地域の道路や公園、河川等の公共施設を子どもに見立て、里親となって植栽や清掃等の美化活動を行う取り組み。 活動への物品支給や保険加入の対応を行政が実施し、市民協働により地域の美化活動を実施。		
効果やPRポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加による美化活動の推進（52団体参加 H29.1月末現在） ・ 美化活動による地域の防犯意識の向上 ・ 行政への情報提供 ・ 企業や学校との協働の推進 		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加団体を拡大し、市民協働による地域の美化活動を更に推進。 ・ 取り組みやすい協働事業として、企業の参加を促す。 		
図・写真			

自治体名	藤枝市	課名	市民活動団体支援課
年度		連絡先	054-643-3274
件名	藤枝市まちづくり総合事業補助事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	市民活動の活発化と市民協働の充実に向け、公益的な市民活動を財政的に支援するための補助事業。 補助金応募団体はプレゼンテーションを行い、市民と職員から成る審査会で、補助対象団体を選定。		
効果やPRポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題に即した事業の実施 ・ 市民主体の活動が活発化 ・ 平成 28 年度は 16 団体が補助金を活用し事業を実施 ・ 団体同士の協働事業への展開 		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	市民主体の公益的な活動をより活発化するとともに、団体同士の連携を推進するため、制度のPRや団体の活動情報を積極的に情報発信する。		
図・写真			

市町名	松崎町	課名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	松崎町まちづくりやろうじゃ協議会		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民主導によるまちづくりに関する取組を図るため ・ 松崎町写真展、大規模花畑によるイベント（リアルかかしの展示）、河川等の環境美化活動の実施（町からの補助金あり） 		
効果やPRポイント	松崎町の景観、環境及び歴史、文化の保全並びに活用を図り、住民が誇りと愛着をもてる活力あるまちづくりを推進		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、メンバーの増強		
図・写真			


市町名	松崎町	課名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	伊豆半島太鼓フェスティバル		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	太鼓の演奏を通して活力を養い、美しい自然の大切さを再認識することにより、松崎町の魅力を町内外に発信し、地域活性化につなげる。松崎海岸と夕陽の自然をバックに特設舞台を設置し、町のホームページ等で募集した県内外の太鼓団体による太鼓の演奏を披露する。 (町からの補助金あり)		
効果やPRポイント	美しい自然と太鼓の演奏により、地域住民の活力や地域への思いを高めるとともに、町外からの誘客にも結び付けられる。		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、実行委員会メンバーの増強		
図・写真			

市町名	松崎町	課 名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	伊豆文邸管理		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	地域住民のボランティアにより町の観光施設である伊豆文邸の管理・運営を行う。 季節による室内の飾りつけや観光客へのお茶のサービスを行う。		
効果やPRポイント	地域住民による効率的な運営管理ができる。また、地域住民と観光客との交流の場となり、町のイメージアップにもつながる。		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、メンバーの増強		
図・写真			

市町名	松崎町	課 名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	花の三聖苑 かじかの湯 運営管理		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	地域住民のボランティアにより町の観光施設である道の駅花の三聖苑 かじかの湯の運営・運営を行う。		
効果やPRポイント	地域住民が地元愛のもとボランティアにより管理・運営を行うことにより、地域の活性化や経費の節減が図られる。		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、メンバーの増強		
図・写真			

市町名	松崎町	課名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	世界でいちばん富士山がきれいに見える町宣言		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	地域住民と周辺自治会のボランティアにより「世界でいちばん富士山がきれいに見える町宣言」を行い、実行委員会を中心に国道136号の松崎雲見間の駿河湾越しの富士山を望む景観を守り、保全・活用している。		
効果やPRポイント	地域住民が地元愛のもとボランティアにより美化清掃、環境保全を行うことにより、地域の活性化や地元愛の育みが図られる。		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、実行委員会メンバーの増強、学生の参加		
図・写真			

市町名	松崎町	課名	企画観光課
年度		連絡先	0558-42-3964
件名	松崎海岸・旧港美化活動		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	地域住民のボランティア団体の「松崎ポートクラブ」により松崎旧港や海岸の美化清掃、賑わいづくりを行う。 （日々の清掃活動、竹筏製作、盆踊りイベントの実施等）		
効果やPRポイント	地域住民が地元愛のもとボランティアにより行うことにより、地域の活性化や環境保全に係る経費の節減が図られる。		
経済的効果			
今後の方向性	継続実施、メンバーの増強		
図・写真			

自治体名	西伊豆町	課名	企画防災課
年度		連絡先	0558-52-1964
件名	西伊豆町まちづくり協議会		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>西伊豆町まちづくり協議会は、地域の実情に合わせて組織化がなされ、将来的には地域づくりの核となる組織として位置づけられることを目標としています。</p> <p>その組織体制は、地区の自治会、老人会、女性会及び町民活動団体やまちづくりに積極的な個人・団体など、幅広い層から形成されている他、協議会と町を繋ぐパイプ役として地区担当職員（役場職員）を任命しており、町民行政等の協働によるまちづくりを推進しています。</p>		
効果やポイント	<p>協働によりまちづくりを推進することにより、地域の課題解決や地域社会の活性化に繋がるとともに、協働を行っていく中で真に行政が行うべき事業や行政組織の在り方そのものまでを見直すことができ、より一層の行政改革が可能となる。</p>		
経済的効果	不明		
今後の方向性	<p>町内他地域との連携や、NPO 及び大学等との連携により、更なる地域課題の解決に取り組んでいきます。</p> <p>参考資料：IVUSA ホームページ (http://49.212.99.19/?p=4479) IVUSAannualreport2013.pdf (P15. P23)</p>		
図・写真			

市町名	清水町	課 名	健康福祉課
年度		連絡先	055-981-8206
件名	健康マイレージ事業 健康チャレンジ しみず GO!50!		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	町民自らの健康づくりの推進を目的に「健康づくりや生活習慣の改善の実践」「健康診査の受診」「健康講座などへの社会参加」等といった健康づくりの取組をポイント化し、ポイントを達成した方に、清水町の協力店のみでなく、静岡県内の協力店で特典が受けられる「ふじのくに健康いきいきカード」を贈呈する事業。		
効果やPRポイント	健康マイレージ事業参加者からは、「毎日、充実した生活になった。」「毎食野菜料理を意識するようになった。」「目標がありがんばれる。」などの声が聞かれている。協力店は、ポスター、ミニのぼり旗の掲示、県ホームページでの公表によりイメージアップにつなげることができ、企業と行政がWin-Winの関係を持つことができる。		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	健康マイレージの参加者及び、協力店の更なる増加を目指していく。		
図・写真			

自治体名	清水町	課名	産業観光課
年度	平成28年度	連絡先	055-981-8239
件名	清水町地域通貨 ゆうすいポイント		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>公共サービスの利用促進と地域商業の活性化を目的に、町独自の地域通貨制度「ゆうすいポイント」を官民共同事業として運用を開始した。ゆうすいポイントは、対象の公共施設等の利用や加盟店での買い物で貯めることができ、また、貯めたポイントは町内の加盟店のみ支払いに使うことができる仕組み。</p> <p>ゆうすいポイントの持続的な発展を図ることで、地域経済の好循環を創出し、安定的な雇用と定住人口拡大を目指す。</p>		
効果やPRポイント	<p>ゆうすいポイントサービスは、清水町民に限らず、小学生以上であれば他市町の住民でも、非接触型ICカード・ゆうすいポイントカードやご当地WAON、おサイフケータイに登録することで利用することができる。</p> <p>地域通貨であるポイントは、対象の公共施設やイベント、加盟店での買い物で貯めることができ、また、貯めたポイントは、加盟店での支払いにのみ使うことができるため、町内での継続的な消費行動を促進する。</p> <p>今後も、利用者が楽しく参加でき、また、賑わいのあるまちづくりと地域経済の活性化に向け、本サービスの持続的な発展を目指す。</p>		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性			

図・写真



自治体名	小山町	課名	町長戦略課
年度	平成24年度～	連絡先	0550-76-6133
件名	住民参加による5つの小学校区における地域別計画(金太郎計画2020)の策定		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ <input type="text" value="地域活性化"/> ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	<input type="text" value="住民参加"/> ・ 提案型事業(提案型委託等) ・ 事業協力・連携(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	<input type="text" value="NPO"/> ・ <input type="text" value="地域住民"/> ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ <input type="text" value="自治会"/> ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ <input type="text" value="なし"/>		
目的・事業概要	第4次小山町総合計画で掲げる『協働』の取り組みの具体的な手法の一つとして、町長戦略政策提言である5つの小学校区における地域別計画「金太郎計画2020」を住民参加で策定する。(※詳細別紙)		
効果やポイント	当町の人口は遂に2万人を割り込み、少子高齢化問題は極めて深刻な状況となっている。協働(住民参加)であるため、その取り組みには限度があり、この状況に直接影響を与えるような取り組みは無理でも、地域の魅力をアップし、楽しく元気な地域づくりを協働で進めることにより、地域住民に現状を強く意識させると同時に、町の政策立案に少なからず寄与できるものとする。		
経済的効果	不明		
今後の方向性	各地域で策定された計画をベースに『できることから』取り組んでいき、地域の元気づくりやコミュニティの活性化に寄与する。		
図・写真	(※詳細別紙)		

【計画の概要】

※第4次小山町総合計画 4-4 町民との協働・共創

町民と行政が互いに地域の課題や目標を共有し、協働・共創のまちづくりを実現することを目的とします。

※町長政策提言 戦略2-1

小山町を元気にするために町民、小山町出身者、役場職員の皆さんとの協働のもと「金太郎計画 2020（仮称）」をつくり、町の総合計画に取り組み、町政運営の基本とします。

上記より、町長政策提言を第4次小山町総合計画の下部計画として位置付け、町民と行政の協働による具体的な取り組みの第一歩として、5つの小学校区ごとに地域別計画（＝金太郎計画2020）の策定を行うものである。

【金太郎計画2020の基本的な考え方】

5つの小学校区には、それぞれ防災、教育、人口減少、地域福祉等々、実に多くの課題があります。しかし、それと同じくらい、自分たちの地域が「こうなってほしい」という夢や希望も数多くあるはずで。

計画を策定する上で大事な事は、町民との協働による取り組みには、やはり限度がある為、無理な課題解決型の計画を策定するのではなく、「出来る事から」「自分たちに何が出来るか」を良く理解したうえで、夢実現型の計画が策定できるように進めていきます。

金太郎計画2020では、地域の課題に取り組むことも重要ですが、自分たちで出来ること、協働で取り組むこと、行政主体で進めること、これらを明確に棲み分けし、5地域それぞれの将来像を示す指針となるような計画策定が求められます。

【計画策定までの手順】

1st (スタート段階)

- 先進地から**情報収集** (視察等含む)



- **地域担当職員制を導入** (5つの小学校区ごとに3名ずつ配置)



2nd (基盤づくり)

- “協働”によるまちづくりに必要な技術『ファシリテーション』を学ぶ**研修を実施**。(1年間(8回研修)×2ヶ年) 実際のワークショップ(=サロン)で活躍できる**会議ファシリテーターを育成**。



- 協働のまちづくりを実現するため、地域住民の意見を集めるのに必要不可欠な“サロン”を運営する組織として、主に上記の研修を修了した人達を中心となって、**小山町インフラ協議会**を設立。



3rd (計画の策定)

- 小学校区ごとに、計画の推進協議会を設立。(推進協議会の内部に検討委員会も設ける。)



- 検討委員会でサロンのテーマ等を検討。



- 地域住民の意見を集めるワークショップ=“サロン”を何回も開催。ここで集められた多くの意見が、計画のベースになる。



- 上記の検討委員会とサロンを何度も繰り返し、より多くの意見を集め
“サロンの意見を地域住民の意見に近づけていく。”



- 上記のように繰り返し開催されたサロンで集められた意見をもとに、検討委員会で計画の素案を作成。

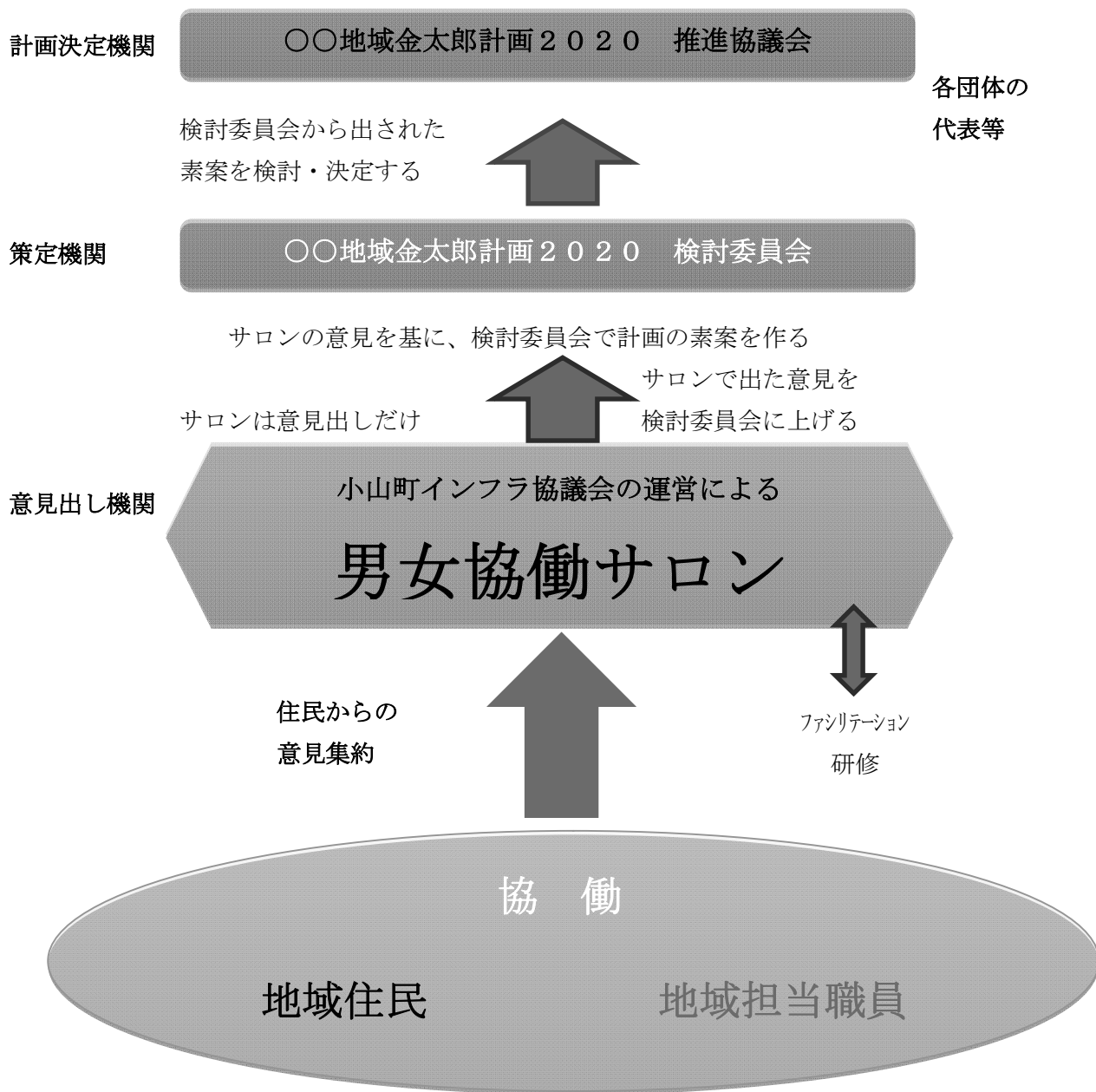


- 素案を推進協議会にあげて修正 ⇒ 検討委員会 . . .
(必要に応じこれを繰り返して) . . . 計画の完成となる。



- その後は、小学校区毎で計画の推進を図っていく。

☆ 金太郎計画2020策定・実践及び関係機関相関図 ☆



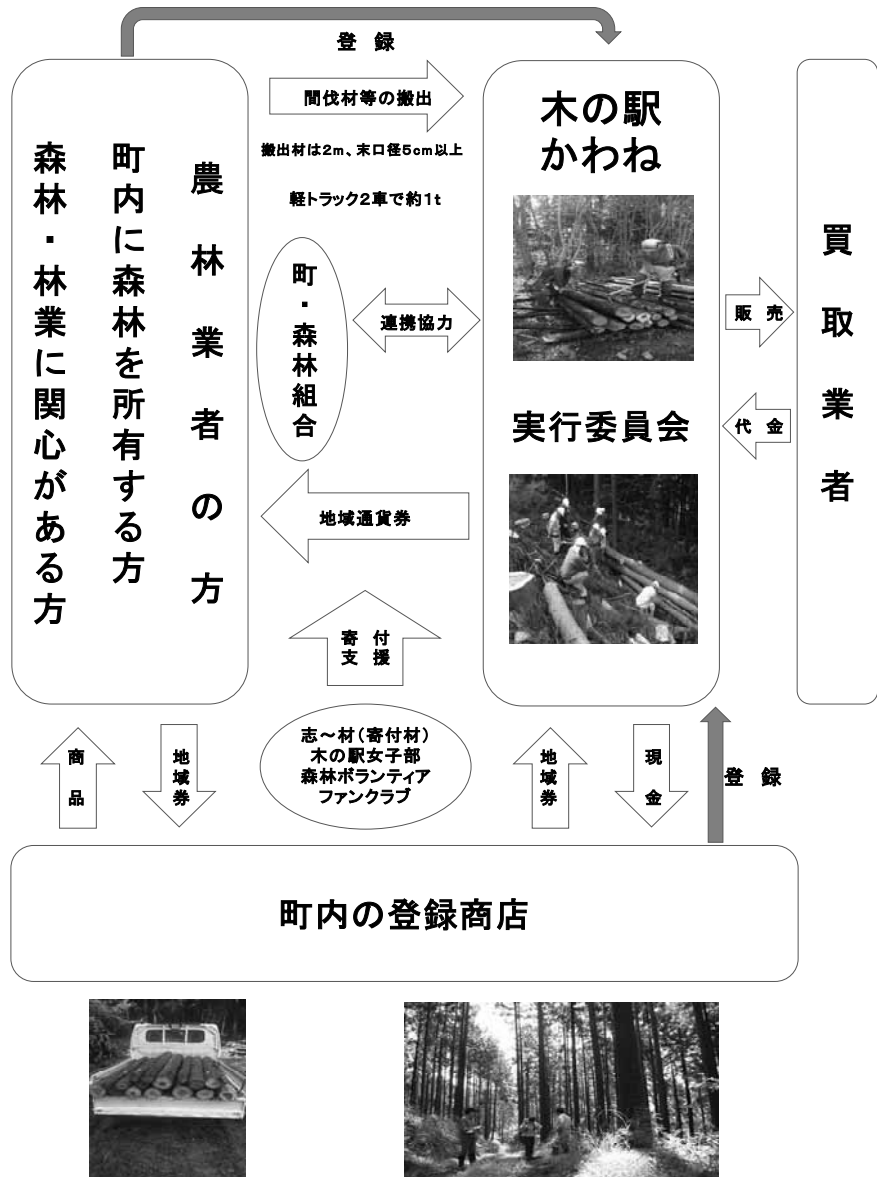
- ★ 協働とは、市民と行政が一緒になって物事を行う（取り組む）ことです。
- ☆ インフラとは、地域の人たちが自由に語り合える場と仕組みのことです。
- ★ サロンとは、地区の人に集まってもらい、地区のまちづくりについて語り合う場であり、地区毎に何回も開催します。 ※ 行動を促すワークショップ=サロン
- ☆ ファシリテーションとは、合意を図る技術（手法の一つ）であり、「参加者の主体性と可能性を引き出す技術」のことです。この合意形成型会議の進行役の人を、ファシリテーターと呼びます。（厳密には、「会議ファシリテーター」のこと。）

～ サロン・町民討議会などを何回も実施して「地域の意見」に近づけていく ～

市町名	川根本町	課名	産業課
年度		連絡先	0547-56-2226
件名	「木の駅かわね」事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>【目的】</p> <p>①森林の整備推進と地域通貨による地域経済への貢献</p> <p>②集落・茶園周辺の環境改善の促進</p> <p>③小規模・副業的自伐林業の復活への足掛かり</p> <p>【事業概要】</p> <p>地域が一体となり間伐材や林地残材等を取集・活用する事業で、登録者が地域通貨による副業的な収入を得ることができるなど、活動の継続性を高める仕組みを構築している。登録者が所有林や事業を所管する実行委員会が斡旋する山林等において自ら間伐した木材や残材を指定された場所に搬入する。搬入された木材は、チップ材として活用される。申告した材積に基づき地域通貨（ダラ券＝1枚500円、6,000円／t）が支払われ、町内の商店等（登録店）で使用することができる。平成27年度は社会実験として取り組み、その後改善を加えながら本格的に事業を推進する。</p>		
効果やPRポイント	森林等にそのまま残されていた間伐材、残材を木材として活用することで、森林整備の促進、町内の環境改善、景観形成が図られる。この事業を通して住民等が地域の森林に目を向け、関心を持つ機会となり、より多くの参加を得ることより林業の活性化につながる。		
経済的効果	木材を地域通貨に換券し商店等で利用することにより、地域経済にも好影響を与えることが期待される。		
今後の方向性	事業の登録者や地域通貨が利用できる登録店の拡大を図り、活動をより活性化させるとともに、木材を利用した薪の生産事業を展開しエネルギーの地産地消を目指す。今後、「子ども木の駅プロジェクト」、川根本町エコツーリズムネットワークと連携した「木の駅体験ツアー」の実施など、この事業を生かした取り組みを関係団体と協力しながら		

推進していく。


川根本町「木の駅かわね」事業システム



図・写真

自治体名	静岡県	課名	行政改革課
年度	平成 26 年度～	連絡先	054-221-2912
件名	ふじのくにづくり学生研究会		
形態	<input type="checkbox"/> 政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ <input type="checkbox"/> 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	<input type="checkbox"/> 住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ <input type="checkbox"/> その他(学生等)		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ <input type="checkbox"/> なし		
目的・事業概要	<p>「ふじのくにづくり学生研究会」は、平成 26 年度の事業レビューに県民評価者として参加した 50 名の大学生の中から有志 19 名により組織された。</p> <p>事業レビュー後も継続して地域課題について研究し、若者としての意見を県政に反映させるための活動を行っている。(平成 29 年 2 月 13 日現在 14 人)</p> <p><平成 28 年度の活動></p> <p>○外部委員への選任等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会 ・ 次代を担う若者たちによる県民会議 ・ 就職支援イベント「縁」実行委員 <p>○事業レビューに関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共催者として、学生県民評価者募集、傍聴者募集の広報を実施 ・ 学生向け県民評価者勉強会を企画 ・ 専門委員の優れた発言を県民が評価する『専門委員いいね賞』を企画 ・ 第 4 回静岡県行財政改革推進委員会における、市町・民間等との連携に関する議論それぞれの課題や改善策等の発表 ・ 事業レビュー対象事業のその後を研究 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひとり 1 改革運動」取組所属へのインタビュー ・ 地域イノベーターフォーラムにおけるポスターセッション <p><平成 27 年度の活動></p> <p>○外部委員への選任等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい“ふじのくに”まち・ひとしごと“創生県民会議本部会議 ・ 美しい“ふじのくに”まち・ひとしごと“創生県民会議地域会議 ・ 地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会 ・ 次代を担う若者たちによる県民会議 		

	<p>○研究発表 「若者と県がなすべきこと」、「静岡県における人口減少の抑止力として考える地域教育のあり方」、「障害福祉に関する調査研究」など</p> <p>○事業レビューに関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生を対象とした進学、就職等の意識に関するアンケートを実施し、事業レビュー当日結果を発表 ・第4回静岡県行財政改革推進委員会において、事業レビューの市町・民間との連携に関するそれぞれの課題や改善策等を発表 <p><平成26年度の活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回静岡県行財政改革推進委員会における、連携分野それぞれの課題や改善策等の発表 ・行財政改革推進委員会の佐藤委員長への取材 ・「ひとり1改革運動」取組所属へのインタビュー
<p>効果やポイント</p>	<p>学生は県政への参加機会を得るとともに、事業レビューを始めとする県主催の会議等への参加を通じて、若者の意見を県政に反映。</p> <p>一方、県は研究成果等を SNS 等を通じて同世代の若者に情報発信することで、県政に対する若者の関心や参加意識の向上を図ることができており、WIN-WIN の関係が形成されている。</p>
<p>経済的効果</p>	
<p>今後の方向性</p>	<p>学生が主体となって、研究会の活動を同世代の若者に対し積極的に情報発信し、若年層への県政に対する関心と参画意識の向上を図るとともに、自立した組織となるよう県が支援していく。</p>
<p>図・写真</p>	<div data-bbox="411 1234 1401 1599" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="411 1624 874 1962" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="895 1624 1401 1962" data-label="Image"> </div> <p>フェイスブックページ：www.facebook.com/fujinokuni201409</p>

自治体名	静岡県	課名	自治行政課
年度		連絡先	054-221-2057
件名	大学生との協働による地域コミュニティ活動の啓発イベント実施		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 (学生)		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	地域コミュニティ活動の啓発を目的に、コミュニティ団体の表彰や事例発表等を行う「コミュニティフォーラム」(県コミ推協主催、県後援)について、常葉大学でボランティア論を受講する学生(18名)が運営に参画し、学生との協働により開催した。		
効果やポイント	<p>学生達の提案からヒントを得て、開催市町における地域活動事例をパネルにして紹介するコーナーを会場に設けるなど、若い世代の視点を活かし工夫を行った。</p> <p>運営面でも、得意なパソコン操作等を担当するなど、高齢世代が多いスタッフをバックアップした。</p> <p>また、学生達は、各自ボランティア活動を行っているが、フォーラム運営への参画や活動事例の発表等を見聞きし、地域に密着した地域コミュニティ活動への理解を深めるきっかけとなった。</p>		
経済的効果			
今後の方向性	引き続き、学生との協働により開催するとともに、若者世代の視点から見た地域活動への参加を促すアイデア等を出してもらうことを検討していく。		
図・写真			


自治体名	静岡県	課名	西部地域政策局
年度		連絡先	0538-37-2202
件名	「世界標準 浜名湖プロジェクト」事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先：浜松市・湖西市） ・ なし		
目的・事業概要	<p>浜名湖の周辺では、浜名湖が持つ多彩な魅力に着目し、環境保全、自然体験、歴史・文化、まちづくり、レジャーなど多分野にわたり、多くの地域団体が活動を行っており、その活動を通じて浜名湖の魅力を発信している。その各活動団体等の相互理解及び連携を促進することにより、さらなる浜名湖の魅力発信の推進を図るため、「世界標準 浜名湖プロジェクト」事業を26年度より実施している。</p> <p>①浜名湖連携活動モデル事業・・・浜名湖周辺で活動する地域団体の新たな連携による活動を企画提案方式で募集し、今年度は2事業（「世界に発信！浜名湖の魅力事業」、「浜名湖 井伊直虎でつながりたい事業」）を採択した。</p> <p>②ホームページ「浜名湖魅力発信隊」の運営・・・浜名湖周辺で活動する地域団体を隊員として、各団体の活動状況や各隊員が入力できるイベントカレンダーも掲載したホームページを運営している。</p> <p>③「みんなの浜名湖シンポジウム～浜名湖とコラボレーション～」の開催・・・浜名湖が重要な地域資源であることを広く県民に再認識してもらうこと、また、浜名湖周辺で活動する地域団体参加のもと浜名湖を活かした地域活性化策を考える機会となることを目的にシンポジウムを開催した。</p>		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> これまで各地域団体が単独で活動してきたところ、浜名湖魅力発信隊として約70団体が参加し、連携する体制を整備した（参加団体は今後も増やしていく）。 浜名湖連携活動モデル事業の応募により、新たな連携活動のきっかけづくりとなった。 イベントカレンダーの掲載により、浜名湖周辺で開催される各種イベント等を把握することができ、団体同士の情報共有や、訪問者が浜名湖を周遊する動機づけともなる。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントカレンダーの入力マニュアルの作成により、できるだけ入力を促進する環境を整備。また、パソコン等の操作が不慣れな方もフォローし、情報更新の活発化を図っている。 ・ シンポジウムの開催により、地域団体等を含めた県民に対し、浜名湖を活用した地域活性化に向けた取組の重要性を発信できた。また浜名湖の魅力発信を推進していくことの必要性も再確認する機会となった。
<p>経済的効果</p>	<p>期待される経済的効果</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発信力 ホームページ「浜名湖魅力発信隊」には、毎月約1,500ページのアクセス ② 集客力 イベントカレンダーや交流会の活用により集客数アップへ ③ 人材力 連携モデル事業を検討すること、また、採択事業の情報提供により連携人材を育成
<p>今後の方向性</p>	<p>26年度からの事業であり、浜名湖周辺で活動する地域団体の連携促進にはある程度継続性が必要と考えており、来年度もホームページの運営などの浜名湖情報発信事業を実施予定。</p>
<p>図・写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="403 1021 916 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>浜名湖魅力発信隊</p> <p>浜名湖の魅力とは、浜名湖が持つ多様な魅力に集約し、環境保全、自然体験、歴史文化、教育など、しつこい必要事項が少なく、多くの地域団体が活動を行っています。その活動を促すために浜名湖の魅力発信隊を立ち上げました。そこで、浜名湖周辺で活動する地域団体を募集し、多くの観光客に、それぞれの活動の魅力を発信し、イベントの参加者を呼び、浜名湖の多様な魅力を発信していくためのホームページ「浜名湖魅力発信隊」を立ち上げました。</p> </div> <div data-bbox="951 1028 1385 1355" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> </div> <p style="text-align: center;">みんなの浜名湖シンポジウム</p> <p>ホームページ「浜名湖魅力発信隊」</p>

市町名	静岡県	課名	県民生活課
年度		連絡先	054-221-3726
件名	ぼぼん・プロジェクト		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型事業（提案型委託等） ・ 事業協力・連携（共催、後援、協議会等） ・ その他（ 協定 ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>・ 古本等の取り扱い会社である株式会社バリューブックスと協定を締結し、一般家庭や企業で眠っている書籍を、株式会社バリューブックスが引取り、その買取相当額がふじのくにNPO活動基金に寄附されることで社会貢献活動に参加できる仕組み。</p> <p>・ プロジェクトの名前は、募金の「ぼ」と古本の「ぼん」を合わせたもの。</p> <p>○寄付の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 申込書に記入の上、不要になった書籍等をダンボールや紙袋に詰め、株式会社バリューブックスに電話して、引き取りを依頼する。5冊以上から受け付ける。 2 集められた書籍等は、株式会社バリューブックスが仕分け・査定する。 3 買取相当額が、株式会社バリューブックスから「ふじのくにNPO活動基金」に寄附される。 		
効果やポイント	<p>・ 「だれもが」、「気軽に」、「負担なく」社会貢献活動に参加できるプロジェクトであり、自治体として初めての試み。</p>		
経済的効果	<p>・ 平成24年6月1日～平成27年6月30日</p> <p>寄附金額 564,455円</p> <p>寄附冊数 36,313冊</p>		

<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじのくにNPO活動基金の終了に伴い、平成27年6月に「ぼぼん・プロジェクト」は、協定解除のもと事業終了した。 ・ 基金の趣旨を引き継ぐ市民コミュニティ財団「公益財団法人ふじのくに未来財団」が、平成27年10月から引続き「ぼぼん・プロジェクト」実施しており、県民が手軽に社会貢献活動に参加できる仕組みとして、県はこれまで同様に「ぼぼん・プロジェクト」の周知を図り、さらなる寄附文化の醸成に努める。
<p>図・写真</p>	<div style="text-align: center;"> <h2 style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">ぼぼん・プロジェクトの仕組み</h2> <pre> graph TD A[寄附者(個人、団体等) 読み終わった書籍、CD等] -- 送付 --> B[送付] B --> C[amazon 市場での販売 Yahoo!オークション] B --> D[無償提供 ブックギフト] C --> E[寄当買 附額取 の相] D --> E E --> F[静岡県(ふじのくにNPO活動基金)] F -- 助成 --> G[県内の社会貢献活動を支援] </pre> </div>

市町名	静岡県	課名	自然保護課
年度		連絡先	054-221-3332
件名	希少野生動植物保護監視員（ヤリタナゴ）		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力（共催、後援、協議会等） ・ その他（ ）		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	希少野生動植物のうち、特に保護を必要とする種の捕獲や採取を規制するため、希少野生動植物保護条例に基づき、指定された動植物の保護監視を行う。		
効果やPRポイント	希少野生動植物やその生息環境の保全は、行政の取組だけでは限界があるため、地域住民の協力を得て自治会活動として保護保全活動を実施している。		
経済的効果			
今後の方向性	今後も、各地域の実情に合わせて、地域住民が主体となったこのような保護保全の取組が展開できるように努めていく。		
図・写真			

市町名	静岡県	課名	環境ふれあい課
年度		連絡先	054-221-2664
件名	森づくり県民大作戦		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 (森づくり団体)		
他地方公共団体との連携	あり (連携先: 各市町) ・ なし		
目的・事業概要	県民の森づくりへの理解と参加の促進を図るため、森づくり団体等と連携し森づくり活動を行う県民参加型の行事として「森づくり県民大作戦」を実施している。県は森づくり団体が主催する行事をHP等で公開し活動を支援するとともに、県民と森づくり団体の橋渡しを担っている。		
効果やPRポイント	多様な活動をしている森づくり団体と連携することにより、県民がそれぞれの目的に合わせて行事を選択できるため、県民が森づくりに参加する機会の増大につながり、県民の森づくりへの理解が深まっている。		
経済的効果	<記載できない場合は不要です>		
今後の方向性	森づくり団体の地域に密着した多様な活動をより一層推進し、県民の森づくりへの参加を促進していく。森づくり団体同士また地元の住民、学校及び企業との連携を促進し、協働の森づくりを広げていく。		
図・写真			
	植樹	森林ガイドウォーク	間伐体験

自治体名	静岡県	課名	御殿場健康福祉センター 衛生薬務課
年度		連絡先	0550-82-1223
件名	地域猫対策		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ <u>地域活性化</u> ・ 維持管理 ・ <u>その他</u> ()		
手法	<u>住民参加</u> ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ <u>その他</u> (地域住民・地域ボラン ティア・地域獣医師・行政の協働)		
対象	NPO ・ <u>地域住民</u> ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ <u>自治会</u> ・ <u>その他</u> (地域動物病院・地域動物愛護ボランティア)		
他地方公共団 体との連携	<u>あり</u> (連携先：御殿場市環境課・市民協働課) ・ なし		
目的・ 事業概要	<p><対策前の状況 平成 24 年 9 月まで></p> <p>御殿場駅前に、野良猫が多数棲息しており、遺棄や無制限な繁殖により毎年子猫が生まれ、病気や交通事故等で多数の子猫が死亡していた。また、長年にわたり糞・置きエサ・鳴き声等の様々な苦情が多く寄せられており、迷惑を被った住民とエサやりの住民との間でトラブルが多発していた。</p> <p><対策準備></p> <p>「動物の愛護及び管理に関する法律」や静岡県「飼い主のいないねこ管理マニュアル」に基づく野良猫対策として地域猫活動の導入を検討。東京都や静岡県の動物愛護推進員を講師に招き、研修会を2回開催し、地域ボランティアを育成。同時に地域住民対象に説明会を市役所と合同で開催した。</p> <p><対策概要>【活動主体は地域住民ボランティア 54 名】</p> <p>※T (Trap) N (Neuter) R (Return)</p> <p>「猫」を保護 (T) し、管内の協力6動物病院の協力を得て不妊去勢処置 (N) を実施し、もとの地域に戻した。(R) 野良猫の寿命は4～5年といわれている。</p> <p>御殿場市内の511匹の猫に手術実施。(平成28年12月まで)</p> <p>※猫トイレの設置</p> <p>プランター型猫トイレ19箇所設置。そのトイレや付近の清掃。</p> <p>※捨て猫防止パトロール</p> <p>自治会とボランティアが協力して定期的にパトロールをして捨て猫を防止している。</p> <p>※広報活動</p> <p>自治会は定期的に活動状況を回覧。行政は市の広報に活動内容を紹介、さらに地域新聞社に活動状況を情報提供。</p> <p>※活動費用</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ (一社) 静岡県動物保護協会御殿場支部「猫の適正管理推進モデル事業」費 ・ 自治会費 ・ 地域住民からの寄付金 ・ 平成 25 年度から御殿場市が市民協同参画事業として助成 <p>.....</p> <p>苦情の多い地域を実態調査し対策地域を絞り込み、地域住民を対象とした研修会を開催。さらに活動初期には TNR および猫用トイレの設置作業を行政がボランティアと共に実施した。自治会は地域住民とボランティアのトラブル防止のために、広報活動を積極的に行い、同時に捨て猫防止パトロールを定期的に行った。行政主導で対策を開始したが、最終的にはボランティアが活動の主体となり、自治会および行政はその活動環境の整備をしている。一部の地域で始まったこの対策が周辺地域に広がり、平成 24 年 9 月から平成 28 年 12 月までの 4 年間で計 511 匹に TNR を実施して、当初はいなかったボランティアや地域協力者は 54 人に増加している。</p>
<p>効果や ポイント</p>	<p>開始当初、対策の効果は 5 年～10 年先と考えていたが、すぐに「街がきれいになった」と感想が地域住民から寄せられるようになった。理由は、①餌やりを認めたため、餌やり人が時間をかけて餌場とその付近の清掃ができる。②猫用トイレの設置により糞害が軽減した。③TNR の実施を広報することで外飼いの猫が減った。などが上げられている。</p> <p>また、対策をしたのは当所管内の一部の地域だが、管内全域から「自分で餌を与えている猫に TNR をしたいがどうしたらよいか、地域猫対策をやるにはどうしたらよいか」等の相談が増えた。また、猫の引取り頭数は半減している。これは、対策を積極的に広報したため、飼い主のいない猫に関わっている住民が解決する方法を知り、自ら実践していることが原因だと思われる。</p> <p>今回の対策は行政が関わり開始したが、徐々に地域住民が飼い主のいない猫に関心を持ち協力者が増加し、地域動物病院が地域貢献のために自治会に協力したことで「地域住民が主となる活動」に移行した。今後、地域猫対策を広げるためには、継続した行政の支援が必要とされる。費用の助成を含むボランティア活動環境の整備の支援と共に、地域猫対策の主旨を理解し地域住民に伝える役割となる人を育成することが大切だと考える。</p> <p>この取り組みについて、県内外から問い合わせがあった。</p> <p>視察・問い合わせ自治体及びボランティア (京都府・鹿児島県・岐阜市・神奈川県秦野市・三島市・裾野市・御前崎市)</p> <p>引き続き行政はアドバイザーとして関わり積極的に広報することで、対策を広めていきたい。</p> <p>殺処分数の減少・苦情の減少・ボランティア活動の充実強化は静岡県総合計画に掲げる施策である。効果的な支援をさらに検討し、地域住民・ボランティア・行政が協働する「飼い主のいない猫」対策を推進したい。</p>
<p>経済的効果</p>	<p>苦情の減少、近隣トラブルの解消、猫の殺処分数の減少</p>

今後の方向性

対策地域を拡大した事業を継続する。

地域猫活動

TNR

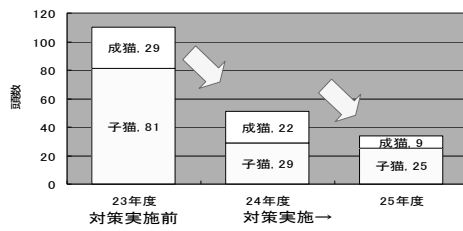
Trap:猫を保護 Neuter:去勢・不妊手術 Return:元の場所に戻す



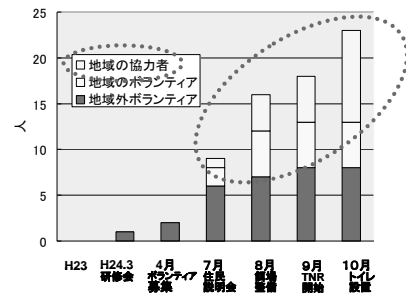
捕獲箱に入ろうとしている猫

図・写真

猫の引取り数半減



ボランティアの増加



市町名	静岡県・富士宮市	課名	富士農林事務所森林整備課
年度		連絡先	0545-65-2202
件名	地域住民による森林整備プランづくり		
形態	業務	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()	
	施設	ハコモノ関連 ・ インフラ関連 ・ その他 ()	
手法	業務	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()	
	施設	指定管理者制度 ・ PFI ・ コンセプション ・ 地方独立行政法人 ・ 民間譲渡 ・ その他 ()	
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富士宮市猪之頭区では、平成 23 年度に地元の意見、提案を取り入れて地域材を活用した区民館(井之頭区民館)を整備した。 ・ このことより、住民と森林の関わり方に変化が現れ、「猪之頭地区の森林を次世代に引き継いでいこう」、「地元の人たち中心で、猪之頭地域の森林のランドデザインを作ろう」という動きがおこった。 ・ そこで、地元住民による猪之頭地区での治山事業を念頭においた森林整備プランづくりが行われた。 		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民が猪之頭地区の森林のあるべき姿を議論し、必要な治山施設についても具体的な提案を行い、森林整備プランが出来上がった。 ・ この森林整備プランを基に測量設計が進み、治山事業(水源森林再生対策事業)の全体計画が作成され、26 年度から森林整備、治山施設整備が行われている。 <p>○水源森林再生対策事業 事業期間 : H26~H30 全体事業費: 725,000 千円 主な工種 : 本数調整伐(間伐) 180ha、作業道開設 4,010m、 治山施設 21 基 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ また、地元の井之頭中学校の学校林「希望の森」を再整備して、子供たちの森林体験や地域の森づくりのシンボルとしたいという機運が生まれた。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・その結果、同中学校の授業の一環として、外部から講師を招いた森林環境教育の実施や、国の交付金(森林・山村多面的機能発揮対策交付金)を活用した森林整備が始まっている。 ・平成 28 年度は、地元住民と事務所職員との治山事業による森林整備の進め方についての意見交換会を実施した。
<p>経済的効果</p>	
<p>今後の方向性</p>	<p>森林整備、治山施設整備を着実に進めていくとともに、地元と連携を取りながら井之頭中学校「希望の森」の再整備に対する支援を行っていく。</p>
<p>図・写真</p>	<div data-bbox="464 703 1209 1261" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="587 1285 1129 1319">地元住民による「森林整備プラン」の検討</p> <div data-bbox="461 1364 1222 1870" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="517 1906 1198 1939">地元住民と農林事務所との意見交換 (H28.12.20 開催時)</p>

自治体名	静岡県	課名	富士農林事務所地域振興課
年度	平成28年度	連絡先	0545-65-2194
件名	富士市大淵笹葉地域における美しい茶園でつながるプロジェクト事業		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、 協議会 等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり (連携先：富士市農政課) ・ なし		
目的・事業概要	<p>目的：大淵笹葉地区をモデル地区に設定し、富士山と茶園の景観を生かし、国内外に情報発信、誘客することにより茶業及び地域の振興を図る。</p> <p>事業概要</p> <p>1 事業実施主体：富士山大淵笹葉景観活用推進協議会（大淵まちづくり協議会、農家民宿、茶生産・販売者、日本茶インストラクター、JA 富士市、富士市、富士農林事務所等）</p> <p>2 事業内容</p> <p>ア 地域情報の収集、発信、体制整備</p> <p>(ア) 受入れ体制の整備（ソフト、ハード両面）</p> <p>(イ) 地元住民提案による美しい茶園や歴史情報の収集</p> <p>(ウ) 情報発信（Web、フェイスブックなど既存のシステムの活用）</p> <p>(エ) 「笹葉」に係る企画・運営などを管理する組織の検討</p> <p>(オ) 景観を活用したイベントの開催</p> <p>イ 茶園の保全管理</p> <p>(ア) 茶園管理、生葉流通体制の整備</p> <p>(イ) 茶園の維持・管理作業の委託など</p> <p>ウ 新商品開発、販売体制の検討</p> <p>(ア) 笹場地区内の茶葉で生産されたプレミアム商品開発、パッケージデザインなどの検討</p> <p>(イ) 観光プログラムの提案</p> <p>(ウ) 郷土食材、四季の料理を盛り込んだオリジナル弁当等の開発</p>		

<p>効果や PR ポイント</p>	<p>地域住民や茶業者が主体的に富士山と茶園という世界に発信できる景観を生かし、茶業や地域の振興につなげる活動を行っている。 このため、活動が住民の自主的な活動として定着する。</p>
<p>経済的効果</p>	<p><記載できない場合は不要です></p>
<p>今後の方向性</p>	<p>茶園の保全管理、観光プログラムの開発、受入体制の整備、商品開発等を進める協議会を支援し、茶業や地域の振興を進める。</p>
<p>図・写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>大淵笹葉お茶まつり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>協議会メンバーによる観光プログラムの検討</p> </div> </div>

自治体名	静岡県	課名	富士農林事務所農村整備課
年度	平成28年度～	連絡先	0545-65-2201
件名	猪之頭わくわくプロジェクト推進協議会設立		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他（ ）		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他（ ）		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他（ ）		
他地方公共団体との連携	あり（連携先： ） ・ なし		
目的・事業概要	<p>富士宮市猪之頭地区は、約1,000haの森林がもたらす豊富な湧水を有し、この湧水が流れる農村風景は、間近に見える富士山と相まって四季折々の美しい景観を形成している。</p> <p>また、この湧水を用いた稲作、ワサビ栽培、養鱒なども地域独自の産業として先人から引き継がれ、地域の基幹産業となっている。</p> <p>しかし、農産物価格の低迷など厳しい農業情勢を背景として、農家数の減少や高齢化・兼業化が進行するとともに、地域では少子高齢化により小中学生の減少、消防団の存続等の問題も顕在化している。</p> <p>猪之頭区では、お祭りや農産物直売所等の企画・運営により、地域活性化を図っているが、各種の取組が単発であるうえ、実施主体が様々であることから、地域全体の取組とはなっていない。</p> <p>一方、この地域においては、県営事業により森林資源の保全や農地の基盤整備が実施されており、整備された地域資源と既存の猪之頭湧水群、陣馬の滝、小田貫湿原等の観光資源を組み合わせることにより、新たな地域振興策に結び付けることが可能となる。</p> <p>このため、猪之頭地区と県では、住民自らが主体的に考え、行政と連携を図りながら、既存自治会組織の活用、様々な立場分野からの住民参加、関連活動団体による連携協働の視点で、地域振興策を展開するため、猪之頭わくわくプロジェクト推進協議会を設立した。（設立年月日：平成28年8月8日）</p> <p>※猪之頭わくわくプロジェクト</p> <p>みんながワクワクするような地域振興のアイデアが、猪之頭湧水のように湧いてくることを願って名づけられました。</p>		

<p>効果や PR ポイント</p>	<p>猪之頭わくわくプロジェクト推進協議会では、地域にとって「こうありたい未来」を定め、うたえで具体策を実行する、バックキャスト形式による地域振興策の策定が提案され、都市住民等のニーズを踏まえたマーケットイン施策を盛り込んでいくこととした。</p> <p>目標設定に当たっては、「未来の姿＝目標」をイメージするため、県内での成功事例「きよさわ里の駅」を先進地視察した。(実施日：平成28年10月19日(水)、参加者：19名)</p> <p>また、具体的な実効効策を検討するに当たり、最も有効な消費者となる都市住民等のニーズを確認するため、猪之頭区内の地域資源を巡り、評価するモニターツアーを実施した。(実施日：平成28年11月20日(日)、参加者：45名)</p>
<p>経済的効果</p>	<p>モニターツアーでは、猪之頭区内の「森」「水」「食」を体験する内容としたが、アンケート結果では、いずれも「大満足」「満足」の評価が多く、商品としての価値を再確認した。</p> <p>また、ツアーコース内に設定した地元農産物を販売する農産物直売所「わいわい市」では、過去最高の売り上げを記録したことから、今後の取組により更なる地域経済の活性化に寄与することが期待できる。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>今後、猪之頭わくわくプロジェクト推進協議会が地域活性化の核組織として、以下の取組の受け入れ組織としての役割を果たしながら、活動の範囲を広げていくことが期待される。</p> <p>(取組内容案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猪之頭区の在来種である金時豆(落花生)やにんにく等の伝統作物や冷涼な気候を生かした新たな高収益作物を導入して、特産品化を図る。 ・訪日外国人旅行者を含めた農山村への旅行者の大幅増加が見込まれることから、猪之頭ならではの伝統的な生活体験や農業体験を地域の人々と交流しながら楽しむことのできるツアーを検討するなど、持続的な観光ビジネスを確立する。 ・良好な農村環境を保全・向上するとともに、地域の行事や文化の伝承を通じた活動により、農村コミュニティの強化を図る。

図・写真

<p>富士宮市</p> <p>猪之頭区</p>	<p><地域分析></p> <p>【強み】・世界文化遺産富士山の西麓に位置する美しい農村環境 ・豊富な湧水を活用した米、高冷地野菜、養蜂などの農林水産業</p> <p>【弱み】・高齢化等により集落機能の低下や生産活動の衰退、耕作放棄地の増加等に危機感</p> <p><方向性></p> <p>・豊かな食と自然環境、景観を活用した新たな産業創出により地域の活性化を支援 ・「未来の姿＝目標」を定めてマーケットイン施策を展開</p> <p><農林水産業></p> 	<p>猪之頭わくわくプロジェクト</p>	
	<p><地域資源（場の力）></p> 	<p>猪之頭わくわくプロジェクト 推進協議会 平成28年8月8日設立 会 長 猪之頭区長 事務局長 富士農林事務所</p> 	
<p>集落基盤整備事業</p>	<p>県営集落基盤整備事業 新富士地区 事業期間：平成25年～32年 総事業費：1,473,000千円 事業目的：農村の総合的な振興と地域農業の健全な発展を図るため、農業生産基盤と生活環境基盤を総合的に実施する。 事業内容：ほ場整備、農業集落道、農業用排水路、農道、集落排水路</p> 	<p><先進地視察></p> <p>「未来の姿＝目標」をイメージするため、県内の成功事例「きよさわ里の駅」を視察（H28.10.19）</p> 	
	<p>県営集落基盤整備事業 新富士地区 事業期間：平成25年～32年 総事業費：1,473,000千円 事業目的：農村の総合的な振興と地域農業の健全な発展を図るため、農業生産基盤と生活環境基盤を総合的に実施する。 事業内容：ほ場整備、農業集落道、農業用排水路、農道、集落排水路</p> 	<p><モニターツアー></p> <p>具体的な実効効果を検討するにあたり、最も有効な消費者となる都市住民等のニーズを確認（H28.11.20）</p> 	
		<p><専門家アドバイザー派遣></p> <p>地域の特産品開発に向けた検討会 アドバイザー：海野裕子氏 瀧島弘氏（H29.2.24）</p> 	
		<p style="text-align: center;">実効施策（案）</p> <p style="text-align: center;">新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣 ・高収益作物の導入 ・おいおい市の実施等  <p style="text-align: center;">知名度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマーク作成 ・イベント開催 ・メディア掲載等  <p style="text-align: center;">環境保全・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払の活用 ・集落道整備 ・景観スポットの整備 	
		<p>「住む人、訪れる人が“わくわく”する邑、猪之頭」</p>	

自治体名	静岡県	課名	技術管理課 (建設技術監理センター)
年度		連絡先	054-268-5004
件名	協働の底力。現地見学ツアーくるまぎ会		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他(学生等)		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域住民やNPO、企業、学校などとの幅広い交流連携を図るとともに、情報の共有化を促進する。 ➤ 県内東部、中部、西部に分けて実施。 		
効果やポイント	県民と行政の情報交換の場としての役割を果たしている。		
経済的効果			
今後の方向性	引続き、県民と行政の情報交換の場となる「くるまぎ会」を開催し、幅広い交流連携を図る。 次世代を担う若年層への参加を呼び掛け、新たな人財の発掘を行う。		
図・写真			

東部くるまざ会の様子



中部くるまざ会の様子



西部くるまぎ会の様子



自治体名	静岡県	課名	技術管理課 (建設技術監理センター)
年度		連絡先	054-268-5004
件名	協働の底力。地域づくり発表会(協働事例発表会)		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他()		
対象	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他(学生等)		
他地方公共団体との連携	あり(連携先:) ・ なし		
目的・事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 協働による“魅力ある地域づくり”を進めるため、県民や市民活動団体、NPO、企業、学生、行政を対象とし、協働の事例やポスターセッション等を通じ、協働のネットワーク形成と促進する。 		
効果やポイント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ NPOや学生、行政に携わる部署等が参加し情報交換の場となっている。 ➤ 参加団体同士が交流することで、活動の継続の励みとなる。 ➤ 大学生等次世代を担う若年層の参加が増えてきている。 		
経済的効果			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 協働の枠組みの拡大、協働の内容、質の向上を目指す。 ➤ 協働を通じて新たな価値を生み出すことや協働の取組の中から新たな課題解決の方法を見つける。 ➤ 社会資本整備における「計画構想」「維持管理」「利活用」など全てのプロセスにおいて、行政が抱える今日的な課題を掘り起し、解消に向けた方向性を検討する。 		
図・写真			

平成 27 年度 協働の底力。地域づくり発表会の様子





市町名	静岡県	課名	景観まちづくり課
年度		連絡先	054-221-3702
件名	静岡県景観賞		
形態	政策形成 ・ サービス提供 ・ 地域活性化 ・ 維持管理 ・ その他 ()		
手法	住民参加 ・ 提案型委託 ・ 事業協力(共催、後援、協議会等) ・ その他 ()		
協働先	NPO ・ 地域住民 ・ 企業 ・ 公的団体 ・ コミュニティ ・ 自治会 ・ その他 ()		
他地方公共団体との連携	あり (連携先：県内市町) ・ なし		
目的・事業概要	静岡県景観賞は、優れた景観形成に貢献している個人・団体を表彰し、魅力ある景観形成に係る普及啓発を目的に実施している。 その中で、都市景観や農山漁村景観のほか、「景観づくり活動部門」を設けて、住民・NPO・企業などが行う景観形成活動を表彰し、その取組を県民に対して広く周知している。		
効果やPRポイント	「景観づくり活動部門」で表彰された活動は、受賞を紹介する冊子を作成しているほか、景観に関する会議等の場において取組事例を紹介するなど、他の地域活動への波及を図っている。		
経済的効果			
今後の方向性	H29年度に景観賞は30周年を迎え、記念シンポジウムや冊子を作成することで、これまで各地で進められてきた景観づくりの活動について、改めて振り返り、優れた景観形成への貢献を顕彰する機会にしたいと考えている。 また、過去の受賞地区などを巡ったり、各地域の活動団体の交流を図るなど新たな施策も検討し、今後さらに、景観について広く普及啓発することで、社会総がかりの景観形成の推進を図っていく。		
図・写真	H28 受賞「中央水道跡公園」(地域住民による公園づくり) 